

地域医療連携室たより

No.23

信頼と融和で創るよい医療

安全・安心・信頼される公正な医療の実践

発行日

2012年2月24日

医療法人社団松柏会
至誠堂総合病院



地域医療連携室たより
第23号

消化器内科医療全般に力を注ぎたい 赤ひげの町医者を目指して



内科医

さとう
佐藤

あきら
明 医師

当院 消化器内科部長

- ・山形県山形市生まれ
- ・所属学会等
日本内科学会認定内科医
日本消化器内視鏡学会
消化器内視鏡専門医
日本医師会認定産業医

医師を志したわけ

特に確固たる理由があったわけではありません。少なからず、父親が製薬会社を経営していたこと、また、子供のころよく遊んでもらった歯科医の叔父が、透析患者になり長い闘病生活の末に亡くなったことなどの影響があると思います。また、高校時代に読んだ山本周五郎著「赤ひげ診療譚」に登場する町医者に自然にあこがれました。

高校～大学時代は吹奏楽でクラリネットに熱中。大学の医学部6年生の時、将来の具体的な進路は決められずにいました。大学でのクラリネットの先輩で山形民医連（民主医療機関連合会）事務局のHさんの勧めで、民医連で研修を行いました。その頃からすでに民医連では医師の臨床研修に「ローテート研修」を採用していました。大学の医局に入局し、専門分野を深めるといよりは、自分は患者さんを広く診ることのできるプライマリケアの修行をしたいと思います。それは、図らずも、「赤ひげ診療譚」の世界にも共通するものでした。

医療レベルをたえず更新しながら

鶴岡市、酒田市、千葉県鴨川市、山形市にもどってからも篠田総合病院とお世話になってきました。そして当院へ。

当院は歴史が古く、老舗の病院として地域の方々に信頼されてきました。地域への密着度や、医療スタッフと患者さんとの距離は近いものがあります。地域の住民にとってかかりやすい、敷居の低い病院であることは、何にも換えがたい財産であると思います。こうした病院で働かせていただくことは、何よりも大きなやり甲斐を感じます。

私は、その中にあって、今までこの病院でできなかった分野、かつてやっていたが現在できない状態になっている分野、特に消化器内科分野において、それをここでできるようにし、根付かせることが当面の目標です。

消化器だけでなく一般内科分野においても、当院の医療レベルを少しでも最新のものに更新、新しく、広く、世間に通用する内科医療を患者さんに提供できるよう、努めていきたいと考えています。



内視鏡室にて

これから力を入れていきたいこと

胃（上部消化管）内視鏡検査、大腸内視鏡検査はさらに力を入れて行っていきます。できるだけ患者さんの苦痛が少なく、診断の精度の高い、ハイレベルな検査を提供できるようがんばっていきます。

検査件数も倍増を図り、具体的には1年間あたりで胃内視鏡は3,000件、大腸内視鏡は1,000件くらい増やし、できるだけたくさんの方に病気の早期発見のための検査を、あまり待たずに受けていただけるような体制にしたいと考えています。

治療の分野では、食道・胃・大腸の早期がんの治療のためのEMR（内視鏡的粘膜切除術）に加え、最も時代の最先端である、ESD（内視鏡的粘膜下層切開剥離術）を行っていきたいと考えます。特に高齢の患者さんでは、身体への負担が軽くすみます。当院では、まだ体制が整っておらず、施行できませんが、早々に治療できる体制を整えていきたいと考えています。

さらに、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）を施行し、高齢者に多い、胆道結石や閉塞性黄疸の治療などを行っていきます。他にも、超音波を利用した肝臓がんへのエタノール注入療法や、B型およびC型肝炎のインターフェロン治療、食道静脈瘤の内視鏡的治療、急性あるいは慢性膵炎の内科的治療など、消化器分野の専門的治療はできるだけ当院でカバーできるようにしていきます。

従来、消化器の専門的疾患に関しては、山形大学第二内科の支援を受けて診断、治療を行っていましたが、今後は当院での入院治療が可能になるようにしていけたら、と考えています。

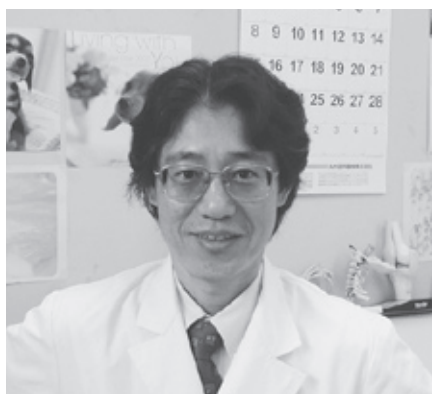
趣味は？

クラリネットの演奏です。現在は県内のアマチュアのオーケストラに所属しています。これまで勤めていた病院でも、院内レクリエーションの機会に吹かせていただいたことが何度かあります。音楽の力も借りて、患者さんとの敷居を低くし、垣根をなくしたいと考えています。

家族は奥さんと1歳3ヶ月の娘さん。奥さんもクラリネットの奏者であると。そして2月の初めには新しい命が誕生しました。

終始にこやかに話をしてくれました。ところどころに飛び出す山形弁。そして、満面の笑み。当院のこれからを担うホープ。どうぞよろしくお願いいたします。

回復期リハビリテーション病棟の現況



医療法人社団松柏会 至誠堂総合病院
リハビリテーション科

小林 真 司

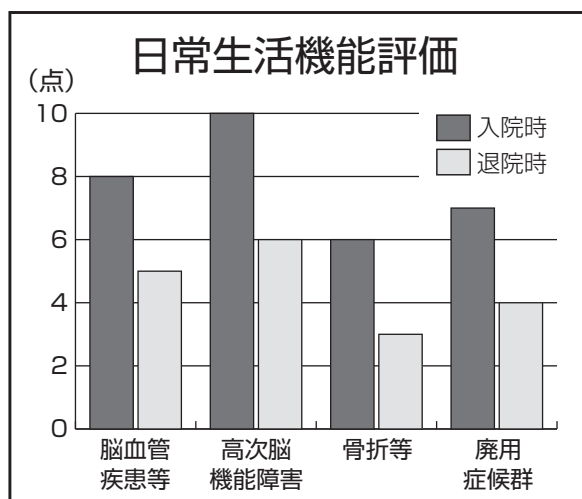
- ・日本リハビリテーション医学会
代議員／専門医
- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本リウマチ学会指導医

患別では骨折症例が約6割、脳血管障害と廃用症候群が約2割ずつで、在宅復帰率は74.2%でした。骨折症例のうち大腿骨頸部骨折地域連携パスによる紹介数が51名で前年の21例と倍以上の数に増加し、現在も増加傾向にあります。



※日常生活機能評価とは

日常生活における身体機能を評価する基準で13項目からなり、0～19点で評価し、点数が高いほど重症となる。10点以上が重症患者とされている。



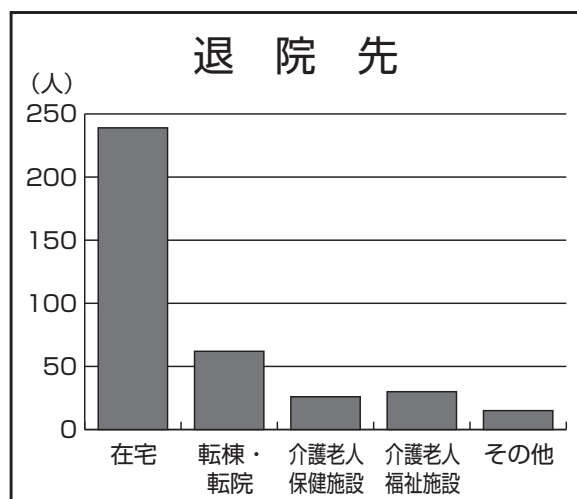
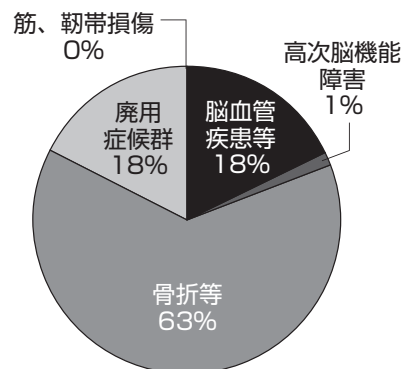
平成22年3月に山形市内では篠田総合病院に次いで回復期リハビリテーション病棟（回りハ病棟）が当院に新設されました。リハの流れは一般に病気やケガの回復状況に応じて、「急性期」、「回復期」、「維持期」に分けられます。回りハ病棟では文字通り「回復期」を主に担当し、寝たきり状態の防止と早期の在宅復帰を目指す加療を行っています。対象となる方々は主に脳梗塞や脳出血などの脳血管障害、脊髄損傷や大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の骨折のほか、外科手術あるいは肺炎などの安静治療の結果、全身持久力や筋力低下などを生

じてしまった廃用症候群の方々です。平成22年度の新規入院総数は360名で疾

疾患別入院状況

平成22年4月～平成23年3月 (人)

脳血管疾患等	64
高次脳機能障害	5
骨折等	228
廃用症候群	63
筋、靱帯損傷	0



伝えなければならない放射能汚染のこと

福島被災地支援



伊藤明子看護師長

当院では、震災後、福島のわたり病院、桑野協立病院へ医師、看護師が診療支援を行っています。昨年秋、伊藤明子看護師長が桑野協立病院6日間にわたり支援に行き、その際の職員へのメッセージです。

「短期間で、お役に立てたのでしょうか。看護部長さんをはじめ、3階病棟スタッフの皆さんの温かい、細やかな心づかいに感激でし

た。初日は病棟でフィッシュのウェルカムメッセージ

をいただき、昼休みにウェルカム会、夜は歓迎会までしていただきました。放射能汚染についても職員みんなで勉強を重ねていることを知りました。放射能についての不安等は、山形にいる人とは温度差を感じます。私たちもしっかり勉強して伝えていなくてはと思います。私たちは仲間です。健康に気をつけられ、がんばってください。」



冬の大手門

我らが街 桜町・木の実町・旅籠町商店街 ⑬



愛犬の美容とホテル パール

山形市木の実町9-4 TEL 023-642-1893

◆荒井健行さんに聞く

昭和57年創業、現在地での営業は3年2カ月に。「美容」については、愛犬が疲れないうスピーディに。短所はカバー、長所をアピールし、犬種元々の理想の形（スタンダード）に近づけカット、トリミングしていきます。「ホテル」については、ゲージタイプ、ルームタイプをそろえています。「きれいになった」「安心して預けられる」、飼い主と信頼関係が築けるのがうれしい。毎週金曜日には仙台の専門学校で非常勤講師として「美容実技」と「公衆衛生」を教えています。

シャンプー、爪きり、毛を整える、耳そうじで1時間30分、3,990円～ + ボディカットで2,990円です。店内2階には、ドッグフード、シャンプー、ゲージなどたくさん置いています。ぜひ、ご利用ください。



日本医療機能評価機構認定施設

至誠堂総合病院 地域医療連携室

山形市桜町7-44
023-622-7551 (直通)
http://www.shiseido-hp.jp
E-mail mail@shiseido-hp.jp
発行責任者 至誠堂総合病院副院長
伊藤 英三
編集 地域医療連携室

編集後記

厳しい寒さだ。四季折々の楽しさはあるのだろうけど、春が待ち遠しい。 (K)